



年末手当に関する若手の声②

労働実感について

- ・乗務に関しても、PT や委員会などでも今までよりも仕事量は断然に多くなっている。本来業務との垣根も見えにくくなっている。
- ・要員がたりてないのか、休日出勤も大変多い。日々仕事が終わると疲れ切っている。休日出勤をして稼げるのは良いのかもしれないが、身を削ってまでキツイ行路をやり、ミスをするくらいならやりたくない。
- ・休出をやらなくても給与をもらえるようにしてほしい。
- ・組合員・社員のおかげで黒字決算を叩き出しているということを会社は認識すべき。
- ・仕事が増えているのに満足いく回答でなければモチベーションが持たないし、また離職率が増えてしまう。
- ・乗務と駅業務で責任や疲労度、労働の質に差はないと言っているのならばむしろ手当で還元すべき。
- ・評価を意識するあまり社員間での競争意識が生まれつつある。この競争意識も安全を阻害する要因になると考える。
- ・確実に業務量は増えているし、内容も企画業務等が加わって、よりハードになっている。
- ・皆、色んなことに追われていて、疲弊している。そのせいで、実際にミスが多発している。
- ・今までに有り得ないようなスピードでたくさんの事象が起きている。それも変革が始まってからである。

年末手当満額回答をかちとるために

J R 東労組に結集しよう!